

政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会

委員一覧 (35名)

委員長	三原じゅん子 (自民)	上野	通子 (自民)	吉田	忠智 (立憲)
理事	青木 一彦 (自民)	臼井	正一 (自民)	秋野	公造 (公明)
理事	江島 潔 (自民)	大家	敏志 (自民)	河野	義博 (公明)
理事	高野 光二郎 (自民)	酒井	庸行 (自民)	窪田	哲也 (公明)
理事	高橋 はるみ (自民)	高橋	克法 (自民)	石井	苗子 (維新)
理事	石橋 通宏 (立憲)	中西	祐介 (自民)	鈴木	宗男 (維新)
理事	矢倉 克夫 (公明)	本田	颯子 (自民)	上田	清司 (民主)
理事	清水 貴之 (維新)	松山	政司 (自民)	浜口	誠 (民主)
	青山 繁晴 (自民)	勝部	賢志 (立憲)	紙	智子 (共産)
	朝日 健太郎 (自民)	塩村	あやか (立憲)	水道橋	博士 (れ新)
	有村 治子 (自民)	田島	麻衣子 (立憲)	高良	鉄美 (沖縄)
	今井 絵理子 (自民)	水野	素子 (立憲)		(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第210回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

11月11日、政府開発援助等の諸方針に関する件について、林外務大臣から発言があった。また、沖縄及び北方問題に関しての諸施策に関する件について、岡田内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）及び林外務大臣から発言があった。

12月7日、政府開発援助等の諸方針に関する件及び沖縄及び北方問題に関しての諸施策に関する件について調査を行い、開発協力大綱の改定に際して、十分な議論及び市民団体の関与を確保する必要性、ロシアによる我が国漁船に対する臨検や拿捕の状況及びそれらに対する政府の対応、ウクライナに対する越冬支援の現状と現金給付を通じた支援に関する政府の方針、新型コロナウイルス感染症等で打撃を受けた沖縄の観光産業の再生に向けた政府の支援方針、北方四島交流事業の対象者拡大の必要性及び北方領土返還運動を継続していくための体制強化、電力価格の高騰に対する政府の取組状況及び沖縄の特殊性を踏まえた更なる取組の必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和4年10月3日(月) (第1回)

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和4年11月11日(金) (第2回)

○政府開発援助等の諸方針に関する件について林外務大臣から発言があった。

○沖縄及び北方問題に関しての諸施策に関する件について岡田内閣府特命担当大臣及び林外務大臣

から発言があった。

○令和4年12月7日(水) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 政府開発援助等の諸方針に関する件及び沖縄及び北方問題に関しての諸施策に関する件について
林外務大臣、岡田内閣府特命担当大臣、井野防衛副大臣、政府参考人及び参考人独立行政法人国際
協力機構理事長田中明彦君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石橋通宏君（立憲）、勝部賢志君（立憲）、清水貴之君（維新）、浜口誠君（民主）、紙智子君
（共産）、高良鉄美君（沖縄）

○令和4年12月10日(土) (第4回)

- 政府開発援助等及び沖縄・北方問題対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定
した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。